

令和7年度事務事業評価（令和6年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	ページ番号
観光振興課	大隈重信記念館改修事業	2
観光振興課	やまびこの湯管理事業	3
観光振興課	浮立の里展示館管理運営事業	4
観光振興課	観光協会事業	5
観光振興課	広域観光事業	6
観光振興課	観光マーケティング事業	7
観光振興課	観光広報PR事業	8
観光振興課	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	9
観光振興課	SAGA2024おもてなし推進事業	10
観光振興課	観光商品開発支援事業	11
観光振興課	観光ボランティア育成事業	12
観光振興課	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	13
観光振興課	MICEと連携した観光消費促進事業	14
観光振興課	インバウンド観光推進事業	15
観光振興課	コンベンション誘致推進事業	16
観光振興課	佐賀城下ひなまつり事業	17
観光振興課	佐賀城下栄の国まつり開催事業	18
観光振興課	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	19
観光振興課	古湯映画祭開催事業	20
観光振興課	三瀬高原キャンペーン	21
観光振興課	地区の各種まつり等開催補助事業	22
観光振興課	合併20周年記念 空飛ぶ感動誕生事業	23
観光振興課	バルーンミュージアム管理運営事業	24
観光振興課	歴史民俗館管理運営事業	25
観光振興課	筑後川昇開橋維持管理事業	26
観光振興課	やまびこ交流館維持管理事業	27
観光振興課	観光情報発信会館維持管理事業	28
観光振興課	泉源管理事業	29
観光振興課	熊の川温泉衛の湯管理事業	30
観光振興課	温泉地活性化推進事業	31
観光振興課	温泉地誘客促進事業	32
観光振興課	熱気球大会開催事業	33

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大隈重信記念館管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界的政治家として、また、早稲田大学の創設者として有名な大隈重信侯の誕生 125 年を記念して建設された大隈重信記念館を観光資源として、県内外から観光客を誘致するため、記念館の維持管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客、市民、早稲田を目指す学生、在校生、卒業生				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回大隈祭開催（5/12） ・企画展「広岡浅子と大隈重信」（9/3～12/15）、「大隈重信と江藤新平」（2/1～3/9）を実施 ・大隈重信侯104回忌法要開催（1/10） ・大隈重信記念館本館外壁改修に係る工事を実施 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,011	29,572	22,302	21,553	40,934
うち佐賀市の負担額	528	127	0	329	16,961

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
75	77 76	79 77	81 77	83 81		

成果指標②						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,524	8,000 8,222	10,000 11,546	12,000 9,923	14,000 10,352		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	入館者数については増加傾向にある。施設の利用満足度については、目標には僅かに届かなかったが、昨年度の数値より上回っており、概ね達成できている。

今後の改善策、対応策等

佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後も状況を見ながら、効果的な広報に努め、市内外からの観光客の誘致に繋げる。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

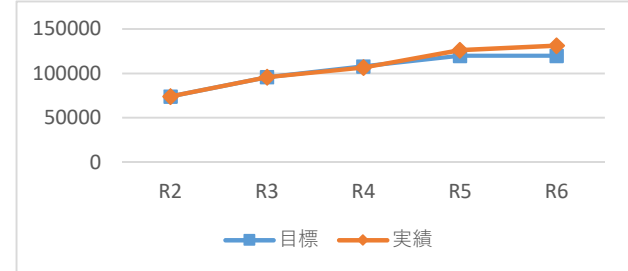
事務事業名	やまびこの湯管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

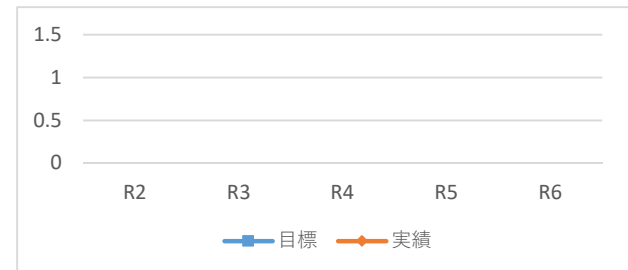
事業概要・目的	やまびこの湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。株式会社創裕を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和6年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告、指定管理者による自主事業であるグランピング事業により集客増を図った。また、館内の各種修繕等環境整備に努めた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,918	23,543	17,569	19,342	20,194
うち佐賀市の負担額	17,571	13,543	17,569	18,442	20,194

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
74,156	96,000 95,972	108,000 106,635	120,000 126,415	120,000 131,288		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度と比較して104%と引き続き増加傾向にある。



今後の改善策、対応策等
入館者数のさらなる増加を図るため、指定管理者による自主事業であるグランピング事業に加え、泉質の良さや、豊かな自然の中というロケーションをPRし、施設の魅力を総合的に高める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

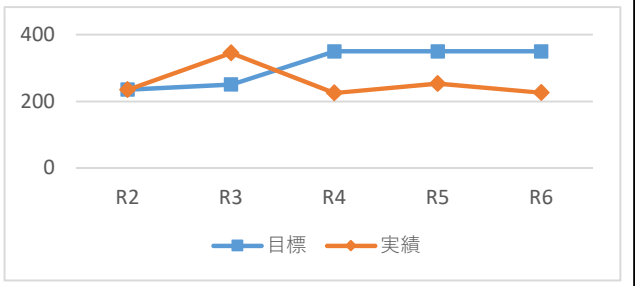
事務事業名	浮立の里展示館管理運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

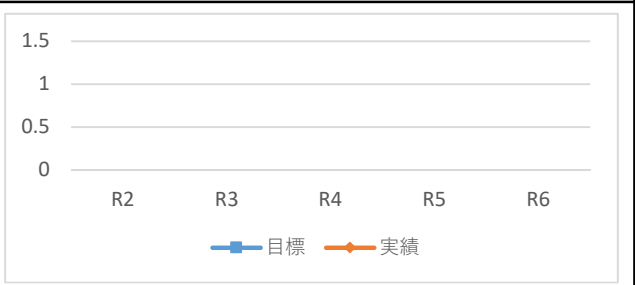
事業概要・目的	浮立に関する民俗上貴重な資料を収集し、保存及び展示を行い、文化的学習施設として市民や観光客へ紹介するとともに、これらの資料を伝承するため、展示館を設置する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客、市民伝統文化の伝承者				
令和6年度 主な活動実績	浮立の里展示館の管理・運営を行い、来館者に市川地区を含む富士町内の5つの天衝舞を紹介した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,811	3,913	3,751	3,876	3,204
うち佐賀市の負担額	3,793	3,883	3,700	3,861	3,189

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
235	250 345	350 225	350 253	350 226		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度比89%と来館者数は減少しており、目標には達していない。



今後の改善策、対応策等
施設のPRおよび周辺の歴史的資産や自然と連携した新たな事業展開を検討する必要がある。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光協会事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光振興及び観光誘客を図るため、佐賀市観光協会が実施する事業及び運営に要する経費の一部を助成する。 観光客の利便性を高めるため、佐賀駅構内観光案内所において観光案内等を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和6年度 主な活動実績	(助成による事業内容) ・観光商品の造成、誘客セールスの実施、ホームページ・SNS・パンフレット等による観光情報発信、 地域イベント開催支援、事務局運営及び管理 (観光案内所) ・市内観光・イベント等案内の実施、8時半～18時(土日祝17時) ※12/31～1/3除く				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	44,402	43,063	44,100	43,987	46,608
うち佐賀市の 負担額	44,402	43,063	44,100	43,987	46,608

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数(暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438 4,047	4,519 4,250	4,603 4,352		

成果指標②						単位
観光案内件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7,175	14,000 7,684	28,000 14,259	28,000 20,052	28,000 21,537		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標値には達しなかったものの、それぞれ前年度比102%、107%と軒並み増加しており、対外的なセールスやP R活動ができている。

今後の改善策、対応策等

国内外問わず、佐賀市を旅行先として選択してもらえるよう効果的な誘客、受入環境整備を図っていくための事業実施への支援を引き続き行っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広域観光事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幅広い観光ニーズに対応するため、近隣の行政・観光団体等と連携し、広域的な観光資源を活用した誘客の展開を図る。(連携団体：九州観光都市連盟、佐賀県観光連盟、シュガーロード連絡協議会、佐賀広域観光等推進協議会、天山自然公園協議会ほか)				
事業の対象者	観光客				
令和6年度 主な活動実績	連携団体への負担金を拠出し、団体が行う誘客セールス、情報発信、イベント等への参加・協力を行った。食を通じた観光振興を図る団体（佐賀市はシシリアンライスdeどっとこむ）が実施する、広域的な観光PRへの助成を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,978	4,679	5,210	4,297	5,769
うち佐賀市の負担額	3,978	4,679	5,210	4,297	5,769

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数 (暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438 4,047	4,519 4,250	4,603 4,352		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標には達しなかったものの、前年度比102%と回復傾向にある。

今後の改善策、対応策等

引き続き関係団体と連携し、他都市での商談会やイベント等へ参加し誘客等を図っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光マーケティング事業		事業期間	令和 6 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室		担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光客の誘致		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	首都圏や近県を中心とした幅広い地域を対象に佐賀市のイメージ等を調査し、観光地としての強みや弱みを明らかにする。また、本市の魅力とターゲットを整理し、効果的なプロモーションを実施する。 佐賀市のファンに観光アンバサダーとしてSNS等で情報発信をしてもらい、本市の情報発信力を強化する。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和6年度 主な活動実績	佐賀市の観光に関する実態を把握するため、「佐賀市ブランド調査」を実施し、効果的なプロモーションの展開を図った。また、佐賀市公認観光アンバサダーを認定し、SNSによる情報発信の強化を図った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					4,879
うち佐賀市の負担額					4,879

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光振興課公式インスタグラムフォロワー数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					3,000	
					3,765	

成果指標②						単位
観光振興課公式Xフォロー数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					1000	
					1069	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析



今後の改善策、対応策等
引き続き調査を行い、佐賀市の客観的な認知度、強み、弱み等を把握し、戦略的で無駄のない観光プロモーションを実施する。また、佐賀市公認観光アンバサダーには、継続的に情報発信を行っていただけるよう、発信しやすい仕組みづくりや内容の工夫を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光広報PR事業		事業期間	平成 15 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室		担当課長名	王丸 直之	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光客の誘致			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の各種イベントや観光施設等の観光情報を、様々なメディアの媒体を活用しPRし、誘客を図る。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設看板等掲出物・ノベルティによる広報PRの実施（7件） ・新聞、雑誌掲載、WEB・SNSによる広報PRの実施（10件） ・TV、映像制作等による広報PRの実施（2件） ・ウェブサイトの制作による広報PRの実施（1件） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,791	14,549	29,042	17,327	16,719
うち佐賀市の負担額	14,791	14,549	29,042	17,327	16,719

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438 4,047	4,519 4,250	4,603 4,352		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標には達しなかったものの、前年度比102%と好調である。



今後の改善策、対応策等
国内外問わず地方観光への関心が高まっていることから、バルーンフェスタや佐賀城下ひなまつり等を中心に、エリアやターゲット層を意識した効果的な広報PRを行い、誘客につなげていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGA MADOを設置・運営する佐賀市観光協会に対し経費の一部を助成し、観光客のニーズに沿った相談対応、旅の提案等ができる体制の構築、市及び県域の様々な観光・イベント情報の発信を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 216,667人 ・観光案内相談件数 5,507件 ・ツアー造成 5件 ・イベント実施 20市町フェア 3回 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	28,500	27,375	26,828	27,000
うち佐賀市の負担額	24,298	22,693	21,375	26,828	27,000

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光案内人数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
1,834	2,000	2,500	3,000	3,500	5,507	
	1,118	1,738	1,620			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	目標値比157.3%と大幅に上回った。



今後の改善策、対応策等
市内観光関連事業者との連携・情報共有の強化、対外的なPRにより、佐賀の玄関口としての周知を図り、来訪者の増加と利用者の満足度向上につなげる。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	SAGA2024おもてなし推進事業	事業期間	令和5～令和6年度
担当部署・係名	観光振興課	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和6年度に開催される「SAGA2024」において、選手や監督、役員、観客に対し、佐賀の魅力を発信し、イメージアップ並びにリピーター確保に繋げる。				
事業の対象者	各競技の選手、監督、役員、観客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・熱気球展示係留（実施8回） ・おみやげマルシェ ・佐賀の銘菓提供 ・ナイトマップ制作（12,000部） ・ランチ巡りBOOK掲載（22,000部） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				12,585	15,875
うち佐賀市の負担額				12,585	15,875

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
			4,519	4,603		
			4,250	4,352		
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標には達しなかったものの、前年度比102.4%と好調であった。



今後の改善策、対応策等
令和6年度で事業終了。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光商品開発支援事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光誘客を図るため、市内の観光資源の整備・活用及び各種ツーリズム等の商品開発を実施した。				
事業の対象者	観光客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社を対象とする、体験型観光商品を組み込んだ旅行商品の販売支援 ・サイクルツーリズム促進のための商品造成 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,069	4,853	7,994	6,135	2,427
うち佐賀市の負担額	4,069	4,853	7,994	6,135	2,427

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光商品開発数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	3 2	3 2	3 2	3 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	体験型観光商品やサイクルツーリズムを素材として商品開発支援を進めることができた。



今後の改善策、対応策等
引き続き、地元事業者と連携して観光商品開発支援に取り組む。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

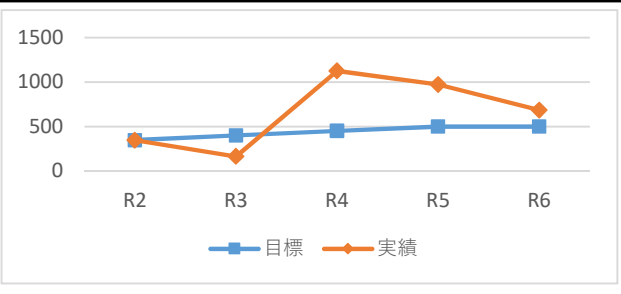
事務事業名	観光ボランティア育成事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の様々な観光情報の提供とおもてなし精神あふれるきめ細かい案内ができる観光ボランティアを育成するとともに、活動しているボランティアのスキルアップを図る。				
事業の対象者	観光ボランティア希望者				
令和6年度 主な活動実績	佐賀市観光協会への委託により、以下の事業を実施した。 ・観光ガイド 54件 ・定例会議、勉強会 11回 ・研修会（ガイド磨き上げ研修、新規コース検討・造成、視察研修等）10回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	550	550	690	655	655
うち佐賀市の負担額	550	550	690	655	655

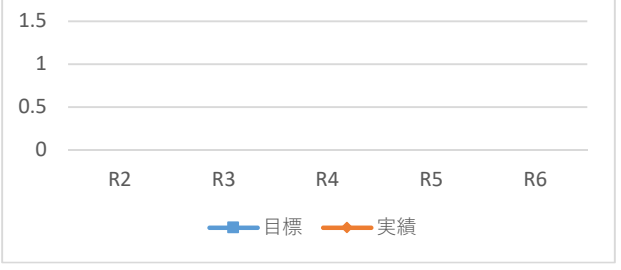
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光ボランティアが案内した観光客数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
347	400 163	450 1126	500 972	500 684		



Year	Target	Actual
R2	347	347
R3	400	163
R4	450	1126
R5	500	972
R6	500	684

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



Year	Target	Actual
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	国内外の団体ツアーや視察観光が増え、目標値比137%と大幅に上回っている。



今後の改善策、対応策等
引き続き観光ガイドを行っていただくことに加え、新たなガイド確保への取組みも行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

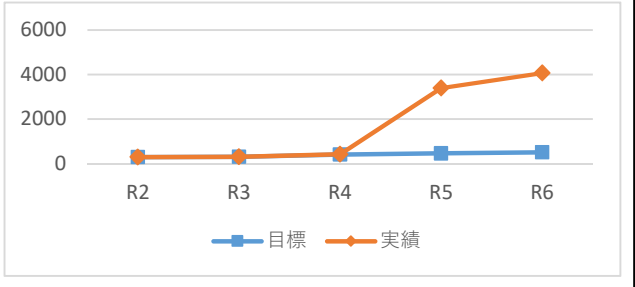
事務事業名	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	事業期間	平成 29 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	観光振興課	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市北部地区の魅力を発見し、広く発信することで、福岡市など域外からの交流人口を増やし、観光面や産業面において地域を活性化させる。				
事業の対象者	県民及び福岡都市圏の住民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、広報誌等での情報発信 ・旅行者や地元の人がつろげる交流スペースの運営 ・月例での映画上映会など、人が拠点を訪れる機会を創出 ・レンタサイクルにより、周遊してもらう機会を創出 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,450	3,450	3,450	3,000	3,000
うち佐賀市の負担額	3,450	3,450	3,450	3,000	3,000

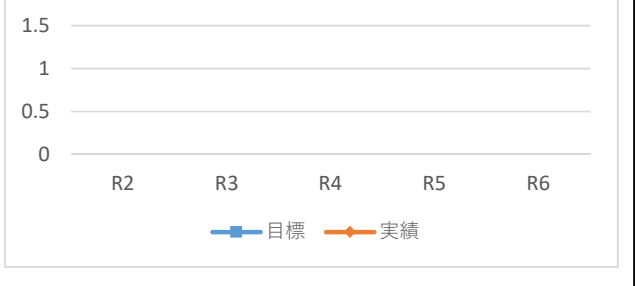
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
286	300 296	400 404	450 3,385	500 4,067		



年度	目標	実績
R2	286	286
R3	300	296
R4	400	404
R5	450	3,385
R6	500	4,067

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	昨年度比120%となっており、目標人数を大きく上回っている。



今後の改善策、対応策等
引き続き、地域の魅力や出来事など、色々な観光情報を発信するとともに、アウトドア需要の高まりを踏まえた旅行者、イベント参加者、地元の人と一緒に楽しくめる拠点づくりに取り組んでいく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	MICEと連携した観光消費促進事業	事業期間	令和 5 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGAアリーナで開催されるMICE等への来訪者をターゲットに、周遊及び宿泊促進による観光消費拡大、来訪者の属性情報収集・分析結果を活用した周遊ルート提案及び観光商品造成を図る。				
事業の対象者	観光客、MICE参加者、プロスポーツ観戦者				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE参加者向け特別クーポンの発行 クーポン利用件数：10,104件 ・スーパーアプリ（佐賀城下ひなまつり期間） 特別クーポン利用件数：1,305件 ・プロスポーツ観戦者向け宿泊助成 宿泊件数：462件 ・観光周遊タクシーの運行 利用件数：221件 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				28,364	28,136
うち佐賀市の負担額				28,364	28,136

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
クーポン利用件数						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
			13,520	15,000		
			10,274	11,409		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5	15,000	10,274
R6	11,409	10,104

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標には達しなかったものの、前年度比111%と増加している。



今後の改善策、対応策等
来訪者の市内周遊及び宿泊を促進するため、MICE等の主催者、宿泊施設等と連携して施策を効率的に周知し、認知拡大及び利用促進を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	インバウンド観光推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	アジアをはじめとした海外からの観光客を増加させるため、本市の観光情報発信や市内の受入体制を強化し、誘客促進を図る。				
事業の対象者	アジアを中心とした海外からの観光客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサーを活用した情報発信 投稿：計15件 エンゲージメント数：計1,059,058件 ・インバウンド向け特設ウェブサイト運用、改修 インフルエンサー記事の追加等 ・公式外国語SNSでの情報発信 計175件 ・リムジンバス（空港⇄バスセンター）Wi-fi設置による受け入れ環境整備（5台） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,361	7,520	8,198	10,742	9,803
うち佐賀市の負担額	9,361	7,520	8,198	10,742	9,803

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市内外国人宿泊者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,257	19,000 2,839	33,000 4,682	57,000 42,653	75,000 74,388		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀空港国際線の増便等により、アジアを中心に来訪者が増加していることから、目標値をおおむね達成できた。

今後の改善策、対応策等

インバウンド観光回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうため、受け入れ環境の整備やデジタルプロモーション等を活用した効果的な情報発信を継続していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	コンベンション誘致推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	コンベンションの誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市の宿泊者数を増加させ、観光客がもたらす経済波及効果の増大を図るため、佐賀市観光協会が実施する誘致活動や開催費助成等に要する経費の一部助成、PRノベルティ制作や会議等開催に向けた相談対応を行った。				
事業の対象者	市内で大会・会議等を開催する団体				
令和6年度主な活動実績	(助成による事業内容) ・大会等開催支援助成 20件 (申請件数25件) ・コンベンション推進団体との情報交換 2回 (その他) ・コンベンションガイドブックの増刷 (10,000部) ・大会等開催相談対応/各種サービスの紹介				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,244	3,762	5,210	4,207	6,156
うち佐賀市の負担額	3,244	3,762	5,210	4,207	6,156

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会等開催支援助成を利用した宿泊者数 (延べ)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
938	4,000 2,496	10,000 6,056	20,000 6,269	25,000 6,768		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	目標には達しなかったものの、前年度比108%と増加している。



今後の改善策、対応策等
SAGAアリーナ等を生かした観光戦略を行うため、引き続き県や関係部署との連携を図り、誘致活動を実施していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	鍋島家伝来の雛人形や、佐賀錦、鍋島小紋の雛人形等を佐賀市歴史民俗館など歴史的に貴重な建物で展示し、佐賀の優れた生活文化をPRする「佐賀城下ひなまつり」を主催する佐賀城下ひなまつり実行委員会に対し、開催経費の一部を助成する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客				
令和6年度主な活動実績	令和7年2月8日（土）～3月9日（日）の30日間にわたり開催された「第25回佐賀城下ひなまつり」を主催する実行委員会に対し、経費に掛かる運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,444	6,783	14,633	14,404	14,404
うち佐賀市の負担額	2	5,489	13,069	11,386	13,015

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	46,000 -	69,000 84,861	92,000 104,930	116,000 109,256		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	46,000	0
R4	92,000	84,861
R5	116,000	104,930
R6	116,000	109,256

成果指標②						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	336 -	504 452	672 1,026	841 1,242		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	336	0
R4	504	452
R5	672	1,026
R6	841	1,242

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	期間を例年の約40日間から約30日間へ短縮しつつも、展示や体験内容を充実させることで前年を上回る来場者数を達成した。



今後の改善策、対応策等
来場者数の増加及び入場料収入の改善が引き続き課題であるため、前回開催の内容を振り返り、ターゲット、コンセプト等を見直すとともに、様々な媒体を通じて県内外に対して広く周知を行い、再来訪者を含め新たな来場者獲得に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下栄の国まつり開催事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民総参加を目指す佐賀城下栄の国まつりについて、市民と行政、企業等が一体となって取り組むことにより、市民の交流や中心商店街への誘客による観光消費の拡大を図るため、開催経費の一部を「佐賀城下栄の国まつり振興会」に助成する。				
事業の対象者	全市民及び近隣市町住民（観客）及びまつりイベントへの参加者				
令和6年度 主な活動実績	令和6年度「第53回佐賀城下栄の国まつり」は、通常開催ではあったが、連日発表される熱中症アラートの影響もあり、熱中症への関心が高まっていた。取り組みに係る経費として主催団体運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	386	1,578	11,500	10,925	10,925
うち佐賀市の負担額	386	1,578	11,500	10,925	10,925

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	235,000 -	236,000 240,000	237,000 243,000	238,000 238,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	猛暑の影響で前年度比98%と微減となったが、目標は達成している。

↓

今後の改善策、対応策等

R7から開催時期を変更し、熱中症のリスクを避けて、来場者や参加者の安全を確保する。また、従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行い、観客の満足度を上げ、さらなる誘客を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ終了後の秋から冬にかけてのフライトシーズンにあわせ、ランキング方式のバルーン大会を4戦にわたって開催する。また、バルーン大会にあわせて朝市や熱気球係留体験搭乗を実施し、来場者の滞在時間の延伸を図っている。				
事業の対象者	北部九州、特に福岡都市圏を中心とした観光客数				
令和6年度主な活動実績	【第1戦】 令和6年12月 7日（土） 【第2戦】 令和6年12月 8日（日） 【第3戦】 令和7年 1月11日（土） 【第4戦】 令和7年 1月12日（日） ※イベントとしてバルーン朝市、熱気球係留体験搭乗を実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,678	1,980	1,891	1,796	1,774
うち佐賀市の負担額	1,678	1,980	1,891	1,796	1,774

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	5,500 -	6,000 4,200	6,500 8,900	7,000 6,500		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	5,500	0
R4	6,500	4,200
R5	7,000	8,900
R6	7,000	6,500

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	荒天のため、熱気球競技は実施できず観客動員数は前年度より減少したが、係留体験搭乗やバルーン朝市を実施し、目標値に近づけた。



今後の改善策、対応策等
風や天候により競技が中止になり、観客動員数が変動するため、従来のイベント見直しや新たなイベント企画を行うことで、競技以外の観客満足度を上げる。また、より多くの広報媒体を活用することで、本大会の認知度を高め、市内外からのさらなる誘客を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	古湯映画祭開催事業	事業期間	昭和 59 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	毎年テーマを決め、テーマに沿った映画を上映する。上映する映画の監督や出演した俳優、スタッフをゲストとして招待し、映画の合間には映画の裏話などを直接聞くことができるトークショーやパーティーを開催する。近隣の温泉施設と連携を図ることで、誘客促進につなげている。				
事業の対象者	県内及び北部九州を中心とした全国の映画ファン				
令和6年度主な活動実績	名称 第39回富士町古湯映画祭 期間 9月28日(土)～9月29日(日) (2日間) 上映本数 7本 テーマ 「今泉力哉監督と選んだこの6本」				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	487	270	2,500	2,500	2,000
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
会場来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800	1,900	2,000	2,100		
	-	1,090	3,092	1,533		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	1,800	1,090
R4	1,900	3,092
R5	2,000	3,092
R6	2,100	1,533

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	例年は祝日を含む3連休の3日間で開催していたが、SAGA2024国スポ・全障スポの開催年であったため、2日間の開催となり、目標としていた来場者数を達成できなかった。



今後の改善策、対応策等
運営の安定化を図るために実施内容の見直し、経費の削減等を積極的に行うとともに、安定したチケット収入を確保するために来場者を増やす取り組みを行っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬高原キャンペーン		事業期間	平成 20 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係		担当課長名	王丸 直之	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光客の誘致			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福岡市と隣接し、佐賀市の北の玄関口に位置している佐賀市三瀬村において、福岡県側からの観光客誘客を促進するため、専門の情報誌を作成し、三瀬村の観光資源を積極的にPRしている。同時に、スタンプラリーを実施し、キャンペーン参加店、観光施設間の周遊性を高めている。				
事業の対象者	県内及び福岡市等からの来場者				
令和6年度主な活動実績	みつせ高原キャンペーン実行委員会が実施する、事業に要する経費の一部を助成した。 ・三瀬の観光に関する情報誌を作成し、三瀬村の観光資源のPR及びスタンプラリーを実施した。 (キャンペーン期間：令和6年7月20日～12月31日)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	1,960	1,960	1,862	1,740
うち佐賀市の負担額	1,016	728	1,294	1,191	1,657

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スタンプラリー参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	—	1,600	1,700	1,700		
1,271	1,376	1,667	1,587	1,541		

年度	目標	実績
R2	0	1,271
R3	0	1,376
R4	1,700	1,667
R5	1,700	1,587
R6	1,700	1,541

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	猛暑の影響もあり、前年度比97%と微減となり目標は達成できていない。また、R5からスタンプラリー参加の条件として、参加店舗の有料利用を広報でよびかけたため、参加者がR4の水準に達していない。

今後の改善策、対応策等
福岡都市圏の観光案内所等との連携を強化し、当キャンペーンへの認知拡大及び、利用促進を促す。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

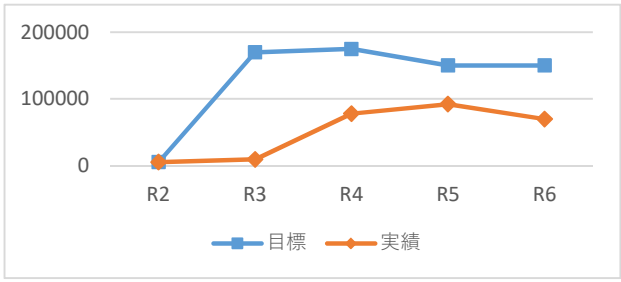
事務事業名	地区の各種まつり等開催補助事業	事業期間	昭和 57 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内各地で開催される各種まつり、イベントに対して補助金を交付する。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	【補助対象事業】 神野公園桜まつり、蓮池公園さくらまつり、佐賀城下町イベント、さが鑑真和上まつり、久保田町精霊流し 川上峡花火大会、諸富産業祭、富士ふれあい祭り、みつせポップジャム 田舎と都市のふれあい祭り、東与賀シチメンソウまつり、松梅さいこうフェス				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,902	7,306	17,063	17,352	17,890
うち佐賀市の負担額	3,902	4,806	11,452	11,352	12,690

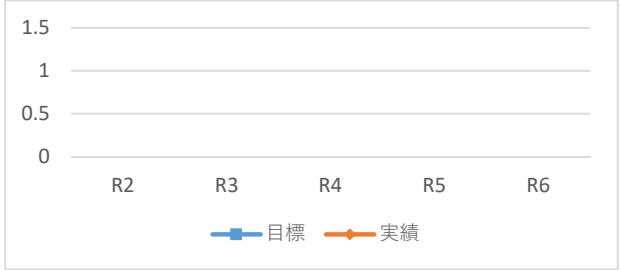
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,000	170,000 9,381	175,000 77,736	150,000 92,153	150,000 69,981		



Year	Target	Actual
R2	170,000	9,381
R3	175,000	77,736
R4	150,000	92,153
R5	150,000	69,981
R6	150,000	69,981

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	観客動員数は前年度比75%と減少し、目標値を達成できていない。



今後の改善策、対応策等
今後、イベントによっては内容の見直しなどが必要となる可能性があるため、必要に応じて協議の場を設けることで、各地区のまつり主催者に寄り添い、まつり開催に向け支援する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	合併20周年記念 空飛ぶ感動誕生事業	事業期間	令和6～令和7年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	合併20周年を記念した熱気球を制作し、市内小学校や各種イベント等における係留体験搭乗を実施することで、「佐賀らしさでみんなが上を向くまち」を目指す。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	新市誕生20周年を記念した新しい熱気球のデザインをプロポーザル方式で募集し、審査会を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					16,890
うち佐賀市の負担額					16,890

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
PR係留等での使用回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	0	
					0	
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和6年度にデザインを決定、令和7年10月の完成を目指し、現在作成中であるため実績なし。



今後の改善策、対応策等
令和7年度の佐賀インターナショナルバルーンフェスタにおいてお披露目のあと、市内小学校や各種イベント等における係留体験搭乗において使用する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンミュージアム管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光客及び市民が年間を通じてバルーンに関する情報に触れることが出来る、バルーンをテーマとした国内初の常設の展示館を運営し、観光拠点として位置付けることにより、「熱気球のまち佐賀市」の魅力を広くアピールするとともに、観光振興及び地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和6年度 主な活動実績	バルーンミュージアムGWイベント（5月）他 「バルーンアカデミア」（7月、8月、2、3月）他 特別展示企画「Baloon Memories」（11月～12月）他 クリスマスイベント「バルーンキャンドルづくり」（12月）他 ひなドームづくりワークショップ（3月）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62,437	68,523	65,798	60,621	68,692
うち佐賀市の負担額	49,401	56,108	49,742	40,308	42,424

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95,000	100,000 114,000	150,000 131,000	200,000 132,000	200,000 163,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	県内の修学旅行や近隣からの家族利用が増えたことで来館者数は年々増加しているが、目標は達成できなかった。

↓

今後の改善策、対応策等

佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後とも来館者数の回復（R1年度201,000人）に向けて魅力あるイベントや企画展などを開催しながら、効果的な広報に努め誘客促進を図りたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	歴史民俗館管理運営事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市歴史民俗館の有効かつ効果的な活用のため、イベントの実施など観光振興の拠点として集客を高めることを目的とした管理運用を適切に行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公募イベントの実施（4件） ・第25回佐賀城下ひなまつりの開催 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	109,172	101,813	33,906	34,106	38,871
うち佐賀市の負担額	64,039	61,348	26,776	27,110	32,057

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
38,725	100,000 40,514	180,000 134,919	180,000 171,528	180,000 181,755		

成果指標②						単位
公募イベントの実施数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	10 10	10 5	10 4	10 4		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	佐賀城下ひなまつりの開催や海外旅行の回復等により、入館者数は前年度比約10,227人増（前年度比106%）と増加しており、従前に戻りつつある。



今後の改善策、対応策等
施設のイベント開催や施設の広報に努め、観光客の誘客を図ることにより、目標値の達成を目指す。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

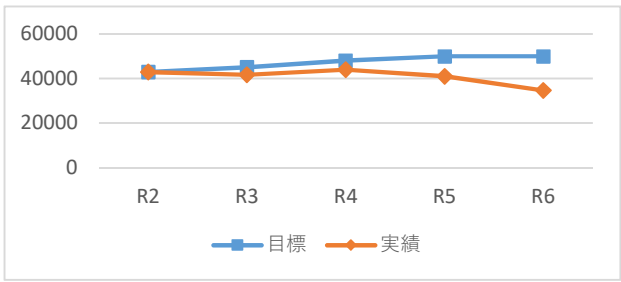
事務事業名	筑後川昇開橋維持管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筑後川昇開橋の維持管理をはじめ、広報・イベントの開催などを行い、観光客の誘客を図る公益財団法人筑後川昇開橋観光財団に対し、その経費の一部を助成する。				
事業の対象者	佐賀県内外の観光客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・筑後川昇開橋スタンプラリーの実施 ・小中学生を対象としたスケッチコンテストを開催 ・写真、絵画コンテストを開催（写真コンテストに新しくInstagramの部を設けた） ・新聞、テレビ、財団ホームページ等において各イベントの周知を実施 ・昇開橋グッズの販売 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,300	9,630	8,850	6,300	9,300
うち佐賀市の負担額	6,300	9,630	8,850	6,300	9,300

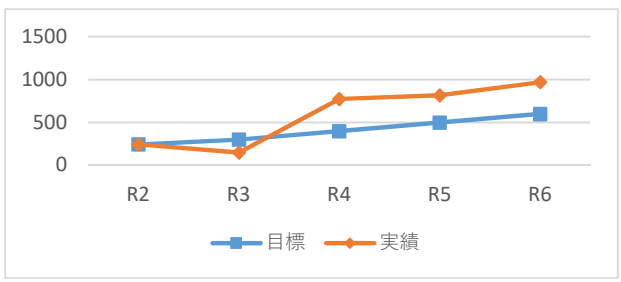
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
遊歩道通行者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
42,934	45,000 41,613	48,000 43,945	50,000 41,018	50,000 34,596		



年度	目標	実績
R2	45,000	42,934
R3	41,613	41,613
R4	43,945	43,945
R5	41,018	41,018
R6	34,596	34,596

成果指標②						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
243	300 150	400 774	500 816	600 969		



年度	目標	実績
R2	300	243
R3	150	150
R4	774	774
R5	816	816
R6	969	969

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	通行者数については目標には届いておらず、昨年度比84%となったが、イベント参加者数については、「筑後川昇開橋スタンプラリー」や写真、絵画コンテストが増加しており、昨年度比119%であった。

今後の改善策、対応策等

近隣にある、佐賀市観光情報発信会館（橋の駅ドロンパ）や新北神社をはじめ、東与賀干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館など、佐賀市南部の観光資源とさらに連携を深め、目標達成に繋げたい。今後も状況を見ながら、イベントの実施や効果的な広報に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこ交流館維持管理事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	古くから継承されてきた民家等を保存活用するため、農機具その他の展示のほか、生活様式、農作業体験及び市内外の住民の交流を行う場として交流館の維持管理を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和6年度 主な活動実績	やまびこ交流館を維持管理し、宿泊客や見学者の受け入れを行った。 ・見学者 451人 ・会議室利用客 174人 ・宿泊客 21人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,584	3,009	3,086	3,236	3,477
うち佐賀市の負担額	5,418	2,871	2,250	2,483	2,670

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
378	507	676	845	929	684	826
					606	646

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	来館者数が前年度比107%と増加しているものの、目標には達していない。



今後の改善策、対応策等
同一敷地内で実施されているグランピング利用者数へ来館を促すなど、引き続き、積極的な周知に取り組む。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信会館維持管理事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市観光情報発信会館「橋の駅ドロンパ」は、徐福上陸の地として伝えられる諸富地区に位置し、国の重要文化財に指定されている筑後川昇開橋に隣接するなど、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つである。この施設の維持管理を行い、効果的な観光情報の発信を行うことにより、広域的な観光の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客				
令和6年度主な活動実績	市内特産品等の販売、観光情報発信、ボランティアガイドの育成				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000	3,000	3,490	3,000	3,000
うち佐賀市の負担額	2,629	2,630	3,122	2,623	2,615

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
86,764	88,000 85,793	89,000 87,619	90,000 85,900	90,000 83,727		

成果指標②						単位
観光情報発信会館での売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
103,498	104,000 101,454	104,500 106,131	105,000 103,903	105,000 105,229		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	売上金額が前年度比101%と目標値は達成できているが、来館者数が前年度比97%と微減となっている。



今後の改善策、対応策等
隣接する筑後川昇開橋や、近隣の新北神社をはじめ、東よか干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館などの観光資源とさらに連携を深め、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つとして、目標達成に繋げたい。また、観光情報発信会館としての情報発信力強化及び市内外の観光客を迎え入れる体制の確立が必要である。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	源泉管理事業		事業期間	昭和 43 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	王丸 直之	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光機能の整備			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	源泉や各旅館・公衆浴場等への温泉給湯設備を適正かつ円滑に管理運営する。				
事業の対象者	旅館業者及び浴場業者等				
令和6年度主な活動実績	旅館及び浴場施設、温泉スタンドへの温泉給湯を適正に行い、関係施設の円滑な運営に寄与した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,198	14,527	13,979	14,840	12,538
うち佐賀市の負担額	0	4,631	2,899	3,296	1,233

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
温泉スタンド売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
394	433 433	453 358	472 297	492 292		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	温泉スタンドの売上金について、前年度比99%となっている。



今後の改善策、対応策等
温泉給湯設備の経年劣化に伴い必要な修繕が年々増えてきているが、今後も継続的に温泉施設が滞りなく営業できるよう適切な管理運営に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熊の川温泉衛の湯管理事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	熊の川温泉衛の湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。有限会社熊の川温泉ちどりの湯を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和6年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、周辺施設との共同による季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告により集客増を図った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,006	15,564	15,913	16,623	11,752
うち佐賀市の負担額	10,999	10,264	15,913	16,023	11,752

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ちどりの湯入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	目標 実績	
54,573	60,030 57,303	62,758 54,323	65,487 55,682	68,216 52,910		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度比95%と減少しており目標を達成できていないが、入浴料売上高については、令和6年7月から値上げしたことにより前年度に比べ増加している。

今後の改善策、対応策等

経営改善のための経費の見直しは継続しつつ、SNS等を活用した広報活動やイベントの実施等を図ることで入館者の増加に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	温泉地活性化推進事業		事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	王丸 直之	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	温泉地ならではのイベントの開催や広報事業を行い、温泉地への誘客を図る。				
事業の対象者	市民、福岡市民				
令和6年度 主な活動実績	ホームページの更新業務、SNSの定期的な運用、温泉情報を含めた富士町の観光情報のパンフレットの作成、看板の新設、イベント等を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,640	4,733	4,735	4,935	4,708
うち佐賀市の負担額	0	0	0	229	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
古湯・熊の川温泉旅館の日帰客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
167,796	184,575 173,705	192,965 165,808	201,355 161,575	209,745 176,786		

成果指標②						単位
古湯・熊の川温泉旅館の宿泊客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
53,317	58,648 54,895	61,314 68,773	63,980 60,274	66,646 64,493		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度と比較して日帰客数は110%、宿泊客数は107%となっており、どちらも目標は達成できていないが、増加している。



今後の改善策、対応策等
古湯・熊の川温泉の「ぬる湯」をブランディングし、効果的な広報を行う。それに加え、季節に応じた、地域の魅力を感じることができるようなイベントを実施することにより、古湯・熊の川温泉及び佐賀市への誘客を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	温泉地誘客促進事業		事業期間	令和 6 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光客の誘致		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内の主要施設を訪れる来場者に対し、対象の温泉施設で利用できる日帰り温泉クーポンを発行し、日帰り温泉の利用促進を図る。				
事業の対象者	市民、観光客				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン期間中のクーポン発行（クーポン発行枚数：4884枚 クーポン利用枚数：2428枚） ・ウェブ広告を活用した情報発信 ・広報物製作 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					3,447
うち佐賀市の負担額					0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
クーポン利用枚数						枚
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					10,000	
					2,428	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	事業を下半期に実施したが、想定より利用がなかった。



今後の改善策、対応策等
単年度事業のためなし。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熱気球大会開催事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	王丸 直之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の秋の風物詩であり、市民の誇り・文化となっている「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」を開催することにより、「熱気球の街さが」のイメージアップを図り、観光客の増加を促進する。				
事業の対象者	バルーン大会の来場者数（観客数、市民）				
令和6年度 主な活動実績	名 称 2024佐賀インターナショナルバルーンフェスタ 期 間 令和6年10月31日（木）～4日（月・休）（5日間） 参加機数 127機 ※大雨の予報により、会場内が冠水する恐れがあるため、2日目以降の会場内でのイベントを中止				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,261	15,797	201,380	186,405	215,683
うち佐賀市の負担額	348	14,107	186,135	172,402	204,480

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	7,000 -	7,000 8,013	7,000 9,118	7,000 -		

年度	目標	実績
R2	7,000	0
R3	7,000	0
R4	7,000	9,118
R5	7,000	9,118
R6	7,000	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	2日目以降の会場内での大会イベントの中止に伴い、目標とする経済波及効果を測ることが困難であった。

↓

今後の改善策、対応策等

従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うことで、本大会の魅力向上を図る。
 また、様々な広報媒体を通じて市内外及び首都圏等への広報、また、海外インバウンド向けのツアー造成等も行うことで、さらなる誘客を図り、経済波及効果のさらなる増加に繋げていく。